
2012 年度 A SEED JAPAN 総会議事録

日時:2012 年 5 月 19 日(土)10:00 ~ 12:00

1) 開会

定足数の確認

A SEED JAPAN(以下、ASJ)規約では正会員の3分の1の出欠・委任により、総会が開かれることとなっており、現在の定足数は正会員 227 人中、3分の1である 76 人以上でした(ASJ 規約第5章第 24 条)。本会では、出席 13 人(総会開始段階)、委任 69 人、合わせて 82 人であり、会員総会は成立することを確認しました。

・委任の内訳:議長/62 名、岸田/4 名、中川/2 名、草刈/1

・規約上は、本来は、議長への委任を総会での一票とするため、今回は議長以外への委任を議長への委任としました。今後は、特に理由がない場合は、議長に委任するようにアナウンスすることとしました。

議長の承認

草刈の議長就任について現時点での出席正会員 13 名(過半数 7 名)により、承認されました。

賛成 13

反対 0

棄権 0

議長以外の 12 人の内 7 人以上(過半数)をもって議決されることを確認しました。

議事進行において途中から参加の正会員がいたため、以下の議事録の中で議決の人数が変更しています。

2) 2011 年度活動報告

発表

議長より報告のプロセスについて、先にそれぞれの活動報告を行い、その後まとめて質疑応答する提案がされ、合意されました。

【ごみゼロナビゲーション(以下、ごみゼロ)]発表者:高木

社会に対して無関心な個人、社会のしくみが人々の対等な関係を拒むということを大きな問題と考え、参加型社会を目指して双方を変えるべく活動しています。

昨年度は 22 本のイベントで環境対策を実施し、6 本が野外音楽フェスティバルでした。1,695 人のボランティアと活動しましたが、震災の影響でイベント自体が減少傾向にありました。

石巻の復興支援活動にも参加しました。南三陸の炊き出しなどを行いました。現地で活動しているプロではないので東京にいる若者と現地をつなげることを行いました。

リサイクルキャンペーンでは、ソーシャルノベルティという考え方で社会を変える個人を増やすために参加者にノベルティを渡すのではなく、マッチング寄付を行ってもらうという選択肢も用意しました。具体的には、5 団体を紹介し、選んだ方に缶バッジを渡しました。また、規模の大きな ap bank fes というイベントで、リユースカップを導入したカップじゃぶじゃぶキャンペーンを展開しました。

【エコ貯金プロジェクト(以下、エコ貯金)]発表者:梅本

震災をうけて、長期目標を変更しましたが、基本的な「フェアで公正な社会づくりに貢献する金融のしくみを実現する」と言う部分は変わっていません。短期目標では目標を 3 つ挙げました。啓発活動のエコ貯金宣言はアースデイ東京、エコプロダクツなどで集め、合計約 11 億円に達しました。ツイッター等での発信や東京・大阪でエコ貯金ワークショップを実施し、ダイアログはエネルギー、震災等をテーマに 3 回実施しました。また、震災をうけての公開質問状を実施しました。今までは主にメガバンク対象だったが範囲を広げて金融機関に送り、29 社より回答を得ました。回答率向上のためにウェブで回答を可能にしました。

【生物多様性の利用をフェアに！プロジェクト(以下、ABS)]発表者:岸田(小林の代理)

2011 年度をもって解散となりました。2010 年度活動のフォローアップ、名古屋議定書を追っていたため、会員には分かりづらい活動だったかも知れないと思います。日本における国内法、システムをつくっていくために欧州への調査活動、そ

れを受けてのダイアログなどを実施しました。
プロジェクトとしての活動は終了しますが、小林個人はシステムづくりに関わり続けます。
補足:メンバー浜田より
本プロジェクトでは、地域から制度をつくっていくことが大事という点も伝えていました。

【メディア CSR プロジェクト(以下、メディア CSR)】発表者:鈴木(秀)
2009 年度から活動を始めていますが、原発、放射性物質に関する報道などについてテレビ局にアンケートを実施し、2 社より回答を得、未回答局に対しては個別でアプローチし、局長と話をすることができました。活動の中で、経済とのしがらみにある構造を改めて確認し、対話や調和を目指す人もいましたが、業界全体として困難な状況であることがわかりました。また、視聴者のメディアに対する関心があがらず、マッチングが課題であると考えています。7月には「ホンキでテレビが CSR フォーラム」を開催しましたが、ラウンドテーブル開催は出来ませんでした。ソーシャルメディア上で報道に対する意見は 634 万を目標としていましたが、5,000 近くしか集まらず、今後も視聴者の声を届ける活動を続けていきます。

【水源 WATCH! プロジェクト(以下、水源)】発表者:草刈
日常生活に必要な資源である水について、日本国内における水の持続的な利用を目指して活動してきました。公開質問状の実施(回答 15 社/48 社)では、まだ水問題に対する取り組みが統一されていないことがわかり、企業の情報公開を求めた点で成果の一つだと考えています。出展の機会が多く、アースデイ東京、FUJI ROCK FESTIVAL に出展した他、ap bank fes にパタゴニアと共同で出展しました。10 月にフォーラムを開催し、水道局、水ジャーナリスト、NGO を集め、実施後も対話の場を設けることができました。

【ケータイゴリラチーム(以下、ケータイゴリラ)】発表者:羽仁(木村の代理)
昨年度の成果の一つは、新しく白ロム化の事業を始めたことで、今までは携帯電話を回収し、リサイクルしていましたが、メンバーの小林の調査により回収後に販売するというくみをつくり、半年ほど実施してきました。また、ウェブサイトのリニューアルを新しいメンバーと共に行いました。2010 年に実施したアフリカツアーの成果は震災、節電の影響で報告会は実施できていません。現地 NGO とのネットワークや啓発ができていないのが課題かと考えています。

【エシカルメタルプロジェクト(以下、エシカル)】発表者:三井
2011 年度をもってプロジェクトとしての活動は終了しました。
携帯電話メーカーなどに金属の調達方針を聞く公開質問を実施し、回答を得ましたが提言までには至っていません。ブース出展はシンポジウム、ラウンドテーブル延期の影響から、2 回程度の実施にとどまり市民に対する啓発に関してはあまりできませんでした。フォーラムではさまざまなステークホルダーが集まり、良い意見交換ができました。また、ツイッターでの情報発信も行いました。

【STOP 水銀輸出プロジェクト(以下、水銀)】発表者:草刈(富田の代理)
2011 年度末をもってプロジェクトは解散となりました。活動の大きな成果は政府間交渉委員会(INC3)にメンバーの曾村が参加したことで、参加にあたって、勉強会や政策提言などの活動を行いました。水銀の問題はイメージしづらく、内部でも勉強会を実施していました。関わったメンバーは ASJ 以外のフィールドで個人として活動することになりました。INC 3 に関しては寄付により参加できたため、会員のみなさんには感謝しているとメンバーから言葉を受け取っています。

【その他承認された理事】発表者:小川
その他承認された理事とは ASJ に必要な要素や分野を補填、強化する役割であり、2011 年度は小川、田辺、三本の 3 名でした。これまでの役割は人材育成、ネットワークでしたが、実務としてはオリエンテーションの運営、メンバーが不足しているチームへのフォローや経験のあるメンバーが多いため経営面のフォローも行っていました。課題としては ASJ 全体でトレーニングができなかったことだと考えています。

質疑応答

・ごみゼロ:個人を変えるということに関して、ボランティア、来場者いずれもの意識を変えているという手応えはありますか？

ボランティアに関してはアンケートをとっており、意識が高い人が増えているという印象があります。ハーベスタと言うイベントでは、ではボランティア参加回数が多い方に通常ボランティアよりも責任のあるコーディネーターをつとめてもらい、好評でした。カップじゃぶじゃぶキャンペーンでもボランティアに進行をお願いしました。また来場者は、ものをもらうだけでは物足りないと感じているのではと考えています。社会を変える必要性を感じている人が増え、少しずつですが、

意識を変えられていると考えています。キャンペーン参加者の選ぶノベルティの中に環境活動団体への寄付というものを2010年度から取り入れています。それを選択した参加者が2010年度は6%でしたが、2011年度は20%に増えたというデータもあり、意識が変わっている一つの事例かと思えます。

・水源: 水源 WATCHer とは何ですか？

活動の内容に即した水源についてチェックしてくれる人を登録するしくみをつくる予定でしたが、スケジュールの変更があったため、しくみをつくれませんでした。

・ごみゼロ: 環境活動団体への寄付というはどこでどういった手法で実施したのでしょうか？

ごみゼロが環境対策を実施するイベントでテントを設置し、来場者に任意で参加してもらいました。クイズに答えてもらい、寄付先を選択してもらい、缶バッジを渡していた。実際の寄付は来場者ではなく、協賛企業が肩代わりをするというものです。

・エコ貯金: エコ貯金宣言、宣言額とはなんですか？

ブース来場者などが現在の金融機関から社会に良いと考えた金融機関にいくら預け変えるか宣言してもらうという活動で、その合計額です。

・メディア CSR: ツイッターなどの視聴者の声の内容や集め方はどのようなものですか？

報道番組で報じられた内容に対して視聴者が考えたことを発信するアクションで、複数のハッシュタグをつけてもらうなどして集めたものをテレビ局に届けるというものでした。

・エシカル: 提出段階での表現と異なるため確認させて欲しいです。

事務局は伝わりづらい表現等を校正し、個別のやりとりで調整していました。

リーダーに確認とれているのであれば問題ないが、啓発活動があまりできなかったという表現ができたという表現になっており、方向性が違うので確認してもらいたいと思います。

事務局では、方針を恣意的に変更しようという意図はありませんでしたが、校正の段階でやりすぎてしまったのかもしれないと考えています。

資料の校正前に方針について確認が必要だったのではないかと考えます。確認も理事に対して、個別ではなくチーム全体にするべきだったのではないのでしょうか。

以上の総会での議論を受けて、総会終了後に、エシカルのリーダーである片山と相談しました。総会資料内の活動報告内容を一部修正し、総会出席者に確認を取りました。また、今年度中の理事会において、報告・計画の作成基準のすり合わせを行い、編集・校正方針も理事会で確認していきます。

承認

議長を除く出席正会員 12 名(過半数7名)により、承認されました。

承認 11

反対 1

棄権 0

反対理由は、承認するとエシカルの活動報告がそのまま掲載されるため、です。

3) 2011 年度収支決算

発表

発表者: 岸田

収入

・会費収入 450 万が震災の影響によるごみゼロの予定イベント数減少にともない、減少しました。

・SPRING 会員(口座自動引き落とし会員)は 20 名増えました。

・賛助会員はゼロになりかけたが、ごみゼロと関係のある企業が賛助会員となって頂けました。

・報告がなかった電源カクメイチーム、森林チームは内部的活動のみで、外に出て得た収入はありませんでした。

・助成金については地球環境基金、アクセンチュア(ケータイゴリラ、エシカル)、マイクロソフト(COP10 に合わせて申請、2011 年度6月まで)の3つでした。

支出

・エシカルはアクセンチュア内での活動が多かったため支出がほとんどありません。

・人件費には、アルバイトスタッフの分も含んでいます。

収支

・50 万のマイナスとなっています。事務局のみだと黒字ですが、ごみゼロや2010年度のケータイゴリラのアフリカツアーが2011年度決算に含まれていることから、単年度赤字となりました。

・ごみゼロの赤字については原因を確認中です。

貸借対照表

・決算後に、重要な後発事象(空き巣)が発生し、2012年度の損失として計上する事としています。この事象を受けて、現在防犯対策を進めています。

質疑応答

・エシカル:東芝とソニーからの寄付があるはずですが、どこに入っていますか？

ソニー、東芝ともには4月以降に入金されたので2012年に計上しています。

・今すぐ確認できないとのことですが、詳細・内訳はどのようにすれば会員は確認できるのですか？

事務局に問い合わせれば可能です。基本はチーム毎で管理しているので、チームでも確認できます。

承認

議長を除く出席正会員 13名(過半数7名)により、承認されました。

承認 13

否認 0

棄権 0

4) 2012年度活動計画

発表

【未来生活nowプロジェクト(以下、未来生活now)】発表者:鈴木(亮)

今までASJが主張してきたことをまとめたチームと考えています。グリードエコノミーや資本系グリーンエコノミーをモノ・カネ・情報で変える、地域の活動を主流化するという目標です。エシカルメタルチームのメンバーが合流し、エシカルメタルの活動も本チーム内で実施していきます。まずは国連の会議に参加し、成果を出したいと考えており、参加するのは岸田、鈴木(亮)、顧問として印鑰氏となっています。国内でもイベント・アクションを実施する予定です。

【ごみゼロ】発表者:高木

引き続き音楽フェスティバルを通じて参加型社会を目指す、と言うことを掲げて活動していきます。20本以上のイベントで1,500名以上のボランティアと活動していきます。中でも、ap bank fes 12で実施するカップじゃぶじゃぶキャンペーンでは、参加者を1,000人増加させたいと考えています。

エコアクショングッズも展開していきます。また、過去のメンバーと語り合う場をつくり、これを今後を考えていく機会としたいと考えています(年2回程度実施)。19年活動してきた成果を出してきたと考えていますが、これからのごみゼロをボランティアと一緒に考えていきたいと考えています。

【エコ貯金】発表者:梅本

短期目標はこれまでと変わらず、3本柱で考えています。エコ貯金宣言に代わる新しい啓発ツールも開発を考えており、アースデイ東京2012に出展の際に未来生活nowの「未来生活チェックシート」を来場者対応に使用したが、おもしろいツールであると思うので、今後も有効に活用していきたいと考えています。

【つながりの森を未来へプロジェクト(以下、つなもり)】発表者:岸田

今までASJ内で勉強会等を行っていましたが、今年度からは対外的に活動していきます。今年度は計画に書いてあることはもちろん、それ以上に活動をしていきたいと考えています。

【メディアCSR】発表者:鈴木(秀)

3.11以降に市民のメディアCSRについての関心がやっと高まっているように感じており、これまで実施してきた活動の力不足を感じていますが、メディアとのラウンドテーブルも持って現状を変革していきたいと考えています。

【水源】発表者:草刈

主体間同士の情報交流を促したいと考えています。計画に記載はありませんが、自治体を招いたセミナーなども考えています。

【ケータイゴリラ】発表者:羽仁

理事は年度途中でチーム内で現在リーダーとなっている浅田麻衣が、理事会において立候補する予定です。長期目標

は本来あまり変えるものではないですが、少し内容を変更しました。メンバーが冬から5、6名増えたこともあり、新規活動(ケータリユース回収)やブース出展を毎月行おうとしており、とても活発に動いている状態です。リユース回収は収益性が高く、回収手段として封筒で行う手法も考えています。

承認

議長を除く出席正会員 13名(過半数7名)により、承認されました。

承認 13

否認 0

棄権 0

5) 2012年度収支予算

発表者:岸田

会費収入を多めに考えていますが、オリエンテーションなどでの会員獲得にも力を注いでいく予定です。また、数年続けた古株の理事がいなくなり、1年目の理事が増えており、ASJの組織強化の必要性もあるため、組織トレーニングの講座開催事業を受託して、組織強化と資金調達という一石二鳥を狙いたいと考えています。

承認

議長を除く出席正会員 13名(過半数7名)により、承認されました。

賛成 13

反対 0

棄権 0

6) 2012年度役員紹介

参加役員・欠席役員から表明

【未来生活now担当】鈴木(亮)

この5年間はスーパーバイザーやメンバーとして活動してきましたが、未来生活nowの理事として活動していきたいと考えています。今は、古株・若手が力を合わせても足りない程の時代状況だと思いますが、乗り切っていきたいと思っています。

【水源担当】草刈

過去には、水プロジェクトのリーダーとして、また水源の担当理事としては、活動してきました。これまで自分と三本前事務局長がリーダーシップをとって活動をつくってきましたが、今はチームメンバーがチームを引っ張っていているという状態でとても良いと考えています。また昨年度も代表だったが、今年度も代表として、今年も理事会へ提案をしていく事やチーム横断的企画もしていきます。

【ごみゼロ担当】羽仁

金銭的には厳しい状況ですが、アーティストの小林武氏等とも連携をしていき、活動を広げていきたいと考えています。ASJの理事としては、古株の一人として深い議論のできる理事会にしていく責任があると思い、理事会に提案をしていきたいと考えています。

【ごみゼロ担当】高木

今年度より、新理事・有給スタッフとなりました。昨年度の社会状況もある中で、ASJの魅力が弱くなっているのではないかと、との懸念もありますが、現在のメンバーと地に足をつけた活動をしていきたいと思っています。前半は理事会で学ばせてもらいながら、後半はASJ全体の事も提案もしていきたいと思っています。

【エコ貯金担当】梅本

エコ貯金担当理事を長く続けた土谷が2011年度限りとなりましたが、まだまだエコ貯金が出来ることがあると思いますので、今までの蓄積を引継ぎ、さらに発展させていければと考えています。

【メディアCSR担当】鈴木(秀)

すごく今の社会状況が危機的だと感じており、メディアという切り口からASJの別チームとも連携して、状況を変えていきたいと思っています。

【つなもり担当】岸田

昨年の震災後、3月16日に事務局長となり、ASJやNGOとは何なのだろうと向き合うこともありましたが、マレーシアに行き、ASJの可能性に気づき、やれる事がたくさんあるのではないかと感じました。ASJの理事であることに誇りを感じています。

欠席役員候補よりの表明代読: 宮腰

【ケータイゴリラ】木村(代読)

今日の総会は、大変恐縮ですがONE LOVE JAMAICA ごみゼロの現場と重なってしまったため、欠席いたします。ケータイゴリラでは今年も多角的な活動を展開しますので、よろしくお願いいたします。

【監事】田辺(代読)

今日の総会は、大変恐縮ですが私事都合のため、欠席いたします。さて、今年度、監事に立候補させていただきます。昨年度までは理事として団体運営に携わって参りましたが、監事としてA SEED JAPANの財産および理事の業務執行を監査いたしますので、引き続きよろしくお願いいたします。

質疑応答

岸田: 補足ですが、監事の鈴木智子氏は昨年度で退任となります。余り長く続けても良くない、という本人からの意見を預かっています。とてもお世話になりましたので、この場を借りて御礼を申し上げたいと思います。

羽仁: 理事会に出てくれた時はシャープな意見を言ってくれており、彼女のような外部理事を今年度も入れていった方が良いのではないかと思います。

承認

議長を除く出席正会員 13名(過半数7名)により、承認されました。

賛成 13

反対 0

棄権 0

7) 閉会